

平成31年度学校だより

まつばらっ子



さぬき市立津田小学校



HP <https://www.fureai-cloud.jp/tsuda-e/>

ぼくは、わたしは〇〇の秋

秋もたけなわです。この時期は、「読書の秋」「食欲の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」「行楽の秋」など、様々な言葉で秋が言い表されます。これら「〇〇の秋」の由来は、何かひとつの出所があってそこから派生したものではなく、それぞれ別の出所から理由を伴って使われるようになったようです。例えば、「読書の秋」は中国の韓愈（かんゆ、768年～824年）が詠んだ「灯火親しむべし（秋の夜長は明かりをつけての読書に適している）」という詩の一句、「食欲の秋」は中国の杜審言（としんげん、645年～708年）が友人に贈った詩の一句「天高く馬肥ゆる秋 秋は空気も澄んでいて 空も高く感じられ馬も肥えるような収穫の季節でもある」が元になったそうです。いずれにしても、秋の気候は何をするにしても適しているのでしょう。

さて、「〇〇の秋」は、本を手にとって登校している児童に、「読書の秋ですね。」というふうに、秋という季節のよさ（情緒）を感じて表現することが多いようです。これを季節ではなく、人間本位で表すならば、「わたしは、本気で（楽しんで）本を描いて、読書の秋にしよう！」となるのではないのでしょうか？

ご家庭でも「あなたはどんな秋にしたいの？」とちょっとだけ尋ねていただければ幸いです。一人一人が素敵な秋にしてほしいと願います。

9月は、学校では2日（月）の5・6年生による交通パレードに始まり、14日（土）には、夏休み作品展、学習参観、学校保健委員会、児童引き渡し訓練等、様々な行事を行いました。特に、14日には多くの保護者に出席いただきありがとうございました。学校保健委員会では、最初に6年三原さんが5・6年生にアンケートを行い、結果をまとめた「メディア依存症」の発表を行い、その後、りつりん病院小児科部長・栗名進先生から「メディアで壊れる子どもたち」というタイトルで、ゲーム依存症をテーマに講演をしていただきました。「日本の子どもは世界一のメディアづけ」やメディアに接する中で、何を失うにしても「時間」を失う。そして、①体が育たない！②言葉の力が育たない！③五感が育たない！④脳にも異変がみられる！⑤生命感覚・身体感覚のゆがみ等のマイナスがあることが話されました。

夏休み前に、「わが家のスマートフォンやゲーム機等の使用ルール」の作成をし、9月に入り夏休みの取組の振り返りをお願いしました。ご協力ありがとうございました。今後子どもたちの健全な成長のために、ご家庭でスマートフォンやゲーム機、そして、テレビ等のメディアの接し方についてご指導をお願いいたします。

10月は子どもたちも今の学年になってから半年となりちょうど1年間の折り返しの時期となりました。10月から子どもたちがこれまでの学習成果を披露する機会がたくさん行われます。10月4日（金）に大内小学校でさ・東小学校教育文化祭音楽発表会が開催され、4年生全員が出演して合唱と合奏を披露します。子どもたちの昼休みや放課後の練習にも力が入っているところです。きっと素敵な音楽を響かせてくれることでしょう。また、10月20日（日）に津田中央公民館で行われる津田ふれあいまつりには3年生全員が参加して歌や演奏を披露します。さらに、さ・東小学生陸上記録会は10月11日（金）に屋島レクザムフィールドで実施されます。5年生・6年生の学校代表児童が選手として出場し競技が行われます。出場選手一人一人が代表としての意識を持って全力を尽くし練習に取り組んでいるところです。素晴らしい成果となることを期待しています。

